

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月20日		記入者	連絡先	750-8030
部 名	生涯学習部	課 名	博物館	課長名	井上 進
事務事業名	展示・教育普及事務				
予算上の事務事業名	展示・教育普及事業経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		15110		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度
施策名	第1施策 生涯学習機会の充実				平成7年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
博物館法・市立博物館条例					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
年4回の特別展、企画展及び学校資料展を実施するとともに、各分野ごとに年間を通じて講座、講演会等教育普及事業を実施する。				市民	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動) なのか。					
<ul style="list-style-type: none"> ・春季企画展「プールの生きもの-秋・冬・春-」 平成17年3月26日～6月19日 ・開館10周年記念展「地球46億年・生命のルーツにせまる」 平成17年7月23日～9月4日 ・開館10周年記念展「博物館の10年」 平成17年10月8日～12月4日 ・学習資料展 平成18年1月14日～3月12日 ・春季企画展「相模野台地と火山灰」 平成18年3月25日～6月18日 					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	19,350	18,011	19,020	19,505	4,030
一般財源	16,353	15,801	16,990	17,475	2,000
受益者負担金	2,997	2,210	2,030	2,030	2,030
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	88,110	88,770	88,550	88,550	88,550
事業コスト合計	107,460	106,781	107,570	108,055	92,580
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	特別展 (夏季)			対象名称 と単位	入場者数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	6,561	4,108	7,666	4,486	0
対象数	8,870	3,719	5,531	4,000	0
単位あたり経費(円)	740	1,105	1,386	1,122	#DIV/0!
前年度比		1.49	1.25	0.81	#DIV/0!

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	特別展・企画展等の開催数	指標式と指標の説明	目標展示回数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	6.0	5.0	5.0		
目標	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
目標達成度（%）	100.0	83.3	83.3		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	展示会等入場者数	指標式と指標の説明	（展示会入場者数＋（講座・教室延べ参加者数）÷市人口		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	59544.0	45749.0	53816.0		
目標	616355.0	620599.0	628804.0	0.0	0.0
目標達成度（%）	9.7	7.4	8.6		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		秋季特別展ではプラネタリウム観覧を無料にする目などを設けるなど、博物館への関心を高める努力をした。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
博物館の関心、集客評価を高めるため好評であった「博物館の日」を、18年度以降も継続して実施する。					
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業効果を検証し、事業内容の精査を行うこと。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			